

5 付 加 価 値 額

- * 付加価値額は3兆7113億円
- * 産業別では、「輸送用機械」が6324億円（構成比17.0%）で最も多い
- * 地域別では、日野市が4685億円（構成比12.6%）で最も多い

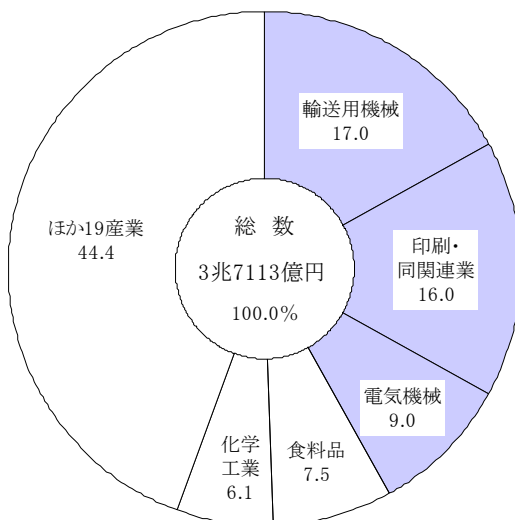
(1) 産業別の状況

産業中分類別にみると、「輸送用機械」が6324億円（構成比17.0%）で最も多く、次いで「印刷・同関連業」が5922億円（同16.0%）、「電気機械」が3323億円（同9.0%）となっている。

平成20年と比較して減少した産業のうち、減少額が最も多いのは、「情報通信機械」の880億円（△44.4%）、次いで「印刷・同関連業」の850億円（△12.5%）、「業務用機械」540億円（△25.3%）となっている。

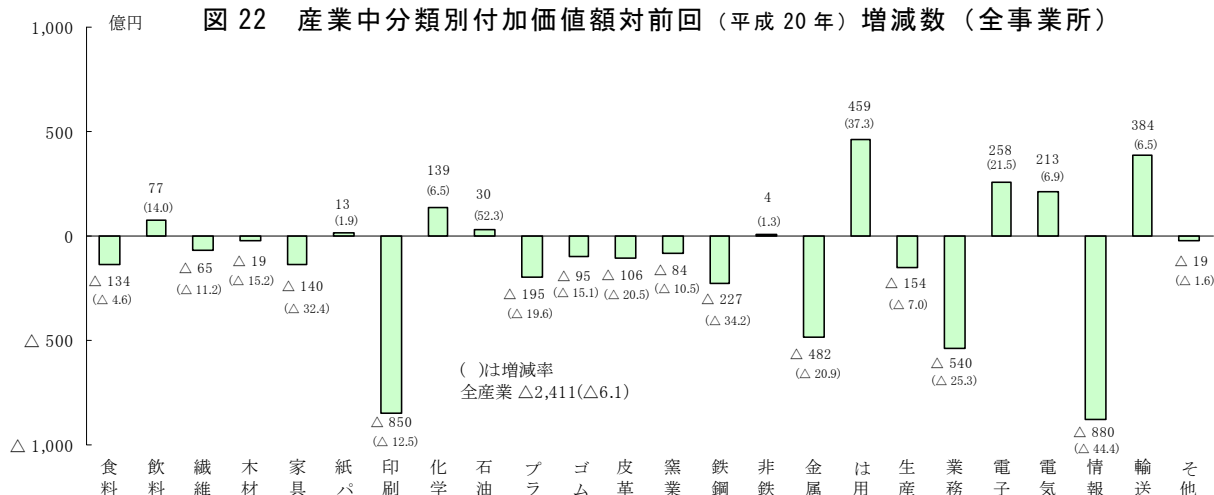
平成20年と比較して増加した産業のうち増加額が最も多いのは、「はん用機械」の459億円（37.3%）となっている。（図21、図22、付表1）

図21 産業中分類別付加価値額構成比（%）（全事業所）



注)上位3産業に網掛けをしている。

図22 産業中分類別付加価値額対前回（平成20年）増減数（全事業所）



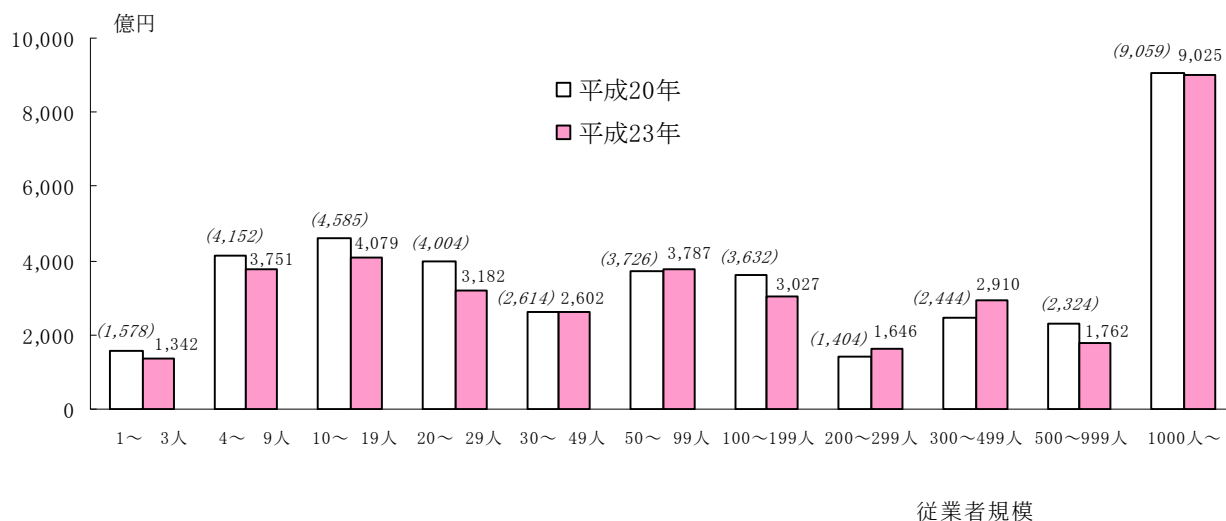
(2) 従業者規模別の状況

従業者規模別にみると、「1000人以上」が9025億円（構成比24.3%）で最も多く、次いで「10～19人」が4079億円（同11.0%）、「50～99人」が3787億円（同10.2%）となっている。

平成20年と比較して増加したのは、「300～499人」の465億円（19.0%）、「200～299人」の242億円（17.2%）及び「50～99人」の61億円（1.6%）の3区分となっている。

平成20年と比較して減少した8区分のうち減少額が最も多いのは、「20～29人」の822億円（△20.5%）、次いで「100～199人」の605億円（△16.6%）、「500～999人」の563億円（△24.2%）となっている。（図23、付表2）

図23 従業者規模別付加価値額（全事業所）



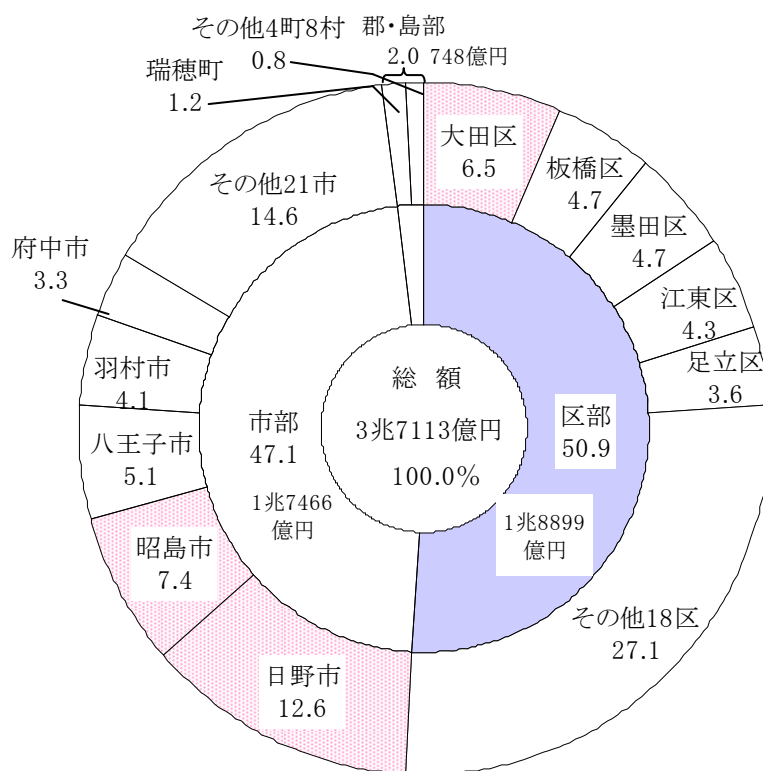
(3) 地域別の状況

地域別にみると、区部が1兆8899億円（構成比50.9%）、市部が1兆7466億円（同47.1%）、郡部が725億円（同2.0%）、島部が23億円（同0.1%）となっている。

区市町村別にみると、区部では、大田区が2398億円（同6.5%）で最も多く、次いで板橋区が1758億円（同4.7%）、墨田区が1748億円（同4.7%）となっている。

市部では、日野市が4685億円（同12.6%）で最も多く、次いで昭島市が2738億円（同7.4%）、八王子市が1891億円（同5.1%）となっている。（図24、付表3）

図 24 区市町村別付加価値額構成比（％）（全事業所）



注）区市各上位 5 位及び郡・島部 1 位を表記
東京都内上位 3 位の区市に網掛けをしている。